



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年4月28日  
上場取引所 東

上場会社名 新京成電鉄株式会社  
 コード番号 9014 URL <https://www.shinkeisei.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 眞下 幸人  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略部主計・連結会計担当課長 (氏名) 内藤 智喜 TEL 047-389-1125  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月25日 配当支払開始 2020年6月26日  
 予定日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無： 無  
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	21,302	△0.7	2,919	△13.2	3,299	△12.5	2,355	△12.1
2019年3月期	21,445	△1.7	3,364	△3.4	3,771	△0.9	2,680	△0.4

(注) 包括利益 2020年3月期 1,165百万円 (△68.0%) 2019年3月期 3,642百万円 (△0.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	214.55	—	5.4	3.3	13.7
2019年3月期	244.17	—	6.4	4.0	15.7

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 320百万円 2019年3月期 316百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	100,929	44,059	43.7	4,013.48
2019年3月期	97,942	43,278	44.2	3,942.27

(参考) 自己資本 2020年3月期 44,059百万円 2019年3月期 43,278百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	5,063	△6,206	49	5,354
2019年3月期	5,276	△4,612	△1,549	6,449

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00	384	14.3	0.9
2020年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00	384	16.3	0.9
2021年3月期(予想)	—	17.50	—	17.50	35.00		—	

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現時点では合理的な算出ができない状況のため未定といたします。今後、予想が可能となった時点において、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	11,023,228株	2019年3月期	11,023,228株
② 期末自己株式数	2020年3月期	45,225株	2019年3月期	45,039株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	10,978,139株	2019年3月期	10,978,338株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	15,263	△2.8	2,669	△11.8	2,887	△11.3	2,037	△11.2
2019年3月期	15,699	△2.3	3,027	0.0	3,255	1.7	2,294	1.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	185.64	—
2019年3月期	209.02	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	96,792	38,853	40.1	3,539.17
2019年3月期	94,049	38,454	40.9	3,502.83

(参考) 自己資本 2020年3月期 38,853百万円 2019年3月期 38,454百万円

2. 2021年3月期の個別業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、現時点では合理的な算出ができない状況のため未定といたします。今後、予想が可能となった時点において、速やかに開示いたします。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

新型コロナウイルス感染症が事業活動及び経営成績に与える影響により、業績予想の適正かつ合理的な算定が困難であることから、今回の連結及び個別業績予想を開示しておりません。なお今後適正かつ合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報) .....	13
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

#### 営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用環境や所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調にありましたが、海外経済の不確実性、金融資本市場の変動、消費税率の引き上げや相次ぐ自然災害の影響により先行きは不透明な状況で推移し、年度末には新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況に直面いたしました。

このような状況のもとで、当社グループでは安全管理体制の更なる充実を根幹とし、引き続き全事業において積極的な営業活動を展開するとともに、経営基盤の強化および業務の効率化に努めました。

その結果、営業収益は21,302百万円(前期比0.7%減 143百万円)、営業利益は2,919百万円(前期比13.2%減 444百万円)、経常利益は3,299百万円(前期比12.5%減 472百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益は2,355百万円(前期比12.1%減 325百万円)となりました。

これをセグメントごとに示すと次のとおりであります。

#### 運輸業

鉄道事業では、安全輸送確保の取り組みとして、デジタルATIS工事をすすめるとともに、常盤平駅および松戸駅の駅舎耐震補強工事を実施いたしました。また、安全・快適で環境にやさしい新形式車両8000形6両1編成を2019年12月に導入いたしました。このほか、前原駅においてホームの嵩上げや多機能トイレを新設するなど、施設のバリアフリー化に努めました。

環境負荷の低減に向けた取り組みにつきましては、8800形車両1編成でVVVFインバータ装置の更新および車内照明のLED化を実施いたしました。

鎌ヶ谷市内の連続立体交差事業につきましては、上り線高架切替工事を実施し、2019年12月に上下線とも高架線での運行となりました。また、初富、新鎌ヶ谷、北初富の3駅は新駅舎へと移転いたしました。

営業面につきましては、新京成音楽フェスティバル、お笑い寄席、沿線健康ハイキング、果物狩りなどのイベントの実施、千葉ロッテマリーンズや千葉ジェッツふなばし、映画「アナと雪の女王2」のラッピング電車の運行、「改元記念きっぷ」や行楽施設の前売り券の販売などを実施し、旅客誘致と増収に努めました。

バス事業では、一般乗合輸送において環境や高齢者などに配慮した車両へと15両代替し、新たに車両を5両導入いたしました。また、大型商業施設の開業に伴い急行系統を新設したほか、津田沼駅行き早朝便を新設するなど利便性の向上と効率的な運営に努めました。高速乗合輸送においては、新たに車両を1両導入し、松戸駅～「東京ディズニーリゾート®」線の運行を開始したほか、新松戸駅・松戸駅～羽田空港線の運行本数を増便するなど増収に努めました。

このほか、一般社団法人千葉県バス協会や千葉県警察本部のご協力のもと、バスジャック対応訓練を開催し、危機管理能力の向上に努めました。

なお、消費税率引き上げ相当分の適正転嫁のため、鉄道およびバス運賃の上限変更認可申請を行い、2019年9月にそれぞれ認可され、10月1日に運賃変更を実施いたしました。

以上の結果、営業収益は16,046百万円(前期比0.9%減 146百万円)、営業利益は1,225百万円(前期比22.0%減 346百万円)となりました。

#### 不動産業

不動産賃貸業では、新たな収益源確保の取り組みとして、千葉市稲毛区小仲台の複合賃貸ビルを取得したほか、八千代市吉橋7街区土地の賃貸を開始いたしました。このほか、空室へのテナント誘致を積極的に行い物件稼働率の維持向上に努めました。

以上の結果、営業収益は3,285百万円(前期比10.4%減 381百万円)、営業利益は1,570百万円(前期比6.7%減 112百万円)となりました。

#### その他

その他(コンビニ事業等)では、2019年6月に新鎌ヶ谷駅、同年12月に北習志野駅に出店したほか、各種セール、ギフト等のイベントへの取り組みを強化するなど、更なる利便性と収益力の向上を図りました。

このほか、「オープン型宅配便ロッカー」を五香駅東口に設置いたしました。

以上の結果、営業収益は2,097百万円(前期比23.7%増 402百万円)、営業利益は97百万円(前期比19.4%増 15百万円)となりました。

次期の見通し

わが国の今後の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け混乱が続いており、収束時期が見通せない状況にあります。当社グループの運輸業においては、政府の緊急事態宣言による沿線住民の外出自粛の影響を受け輸送人員が大幅に減少しております。

次期の見通しにつきましては、状況の収束時期が見通せないこともあり、現時点で業績予想の合理的な見積もりが困難であることから、未定といたします。

今後、業績予想の合理的な見積もりが可能となった時点で速やかに公表いたします。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末の資産につきましては、現金及び預金、投資有価証券の減少等がありましたものの、建設仮勘定の増加等により、前連結会計年度末に比べ2,987百万円（前期比3.0%）増加し、100,929百万円となりました。

負債につきましては、買掛金の減少等がありましたものの、前受金の増加等により、前連結会計年度末に比べ2,206百万円（前期比4.0%）増加し、56,869百万円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の減少等がありましたものの利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ780百万円（前期比1.8%）増加し、44,059百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べ1,094百万円減少し、5,354百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は5,063百万円(前期比4.0%減)となりました。

これは主に法人税等の支払額が1,108百万円あったものの、税金等調整前当期純利益3,306百万円及び減価償却費3,055百万円が計上されたこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6,206百万円(前期比34.6%増)となりました。

これは主に工事負担金等受入による収入が2,985百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が8,846百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は49百万円(前期は1,549百万円の使用)となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出が1,059百万円あったものの、長期借入れによる収入が1,500百万円あったこと等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	43.0	43.4	44.2	43.7
時価ベースの自己資本比率(%)	26.7	26.4	23.3	23.8
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	2.0	1.4	1.5	1.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	31.0	47.1	41.3	44.4

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社の事業は公共性の高い業種でありますので、配当につきましては、経営基盤の強化安定を図るとともに、安全輸送の確保やお客さまサービス向上等の設備投資及び将来にわたる企業体質強化のための原資となる内部留保資金の確保等を勘案しながら、株主の皆さまに安定的かつ継続的に利益還元していくことを基本方針としております。

当期の期末配当金につきましては、1株につき17円50銭(中間配当金17円50銭を含めて年35円)の普通配当を行う予定です。

また、次期の配当につきましては、年間配当金35円(中間配当金17円50銭、期末配当金17円50銭)の普通配当を行う予定です。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループでは、財務諸表作成に係るコスト面や、同業他社の動向を勘案し、従来から適用している日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,449,283	5,354,752
売掛金	1,294,920	1,066,183
リース投資資産	830,994	819,071
有価証券	500,000	500,000
商品及び製品	34,865	42,450
分譲土地建物	676,845	665,485
原材料及び貯蔵品	440,776	482,421
その他	586,930	410,966
流動資産合計	10,814,616	9,341,330
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,563,553	22,011,210
機械装置及び運搬具(純額)	4,876,528	5,667,748
土地	10,855,110	11,785,352
建設仮勘定	37,086,673	40,216,624
その他(純額)	652,048	1,250,282
有形固定資産合計	75,033,913	80,931,218
無形固定資産	735,916	839,899
投資その他の資産		
投資有価証券	10,803,134	9,246,918
繰延税金資産	230,544	245,544
退職給付に係る資産	191,755	185,892
その他	132,865	138,981
投資その他の資産合計	11,358,300	9,817,337
固定資産合計	87,128,130	91,588,455
資産合計	97,942,747	100,929,786
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,147,117	1,046,685
短期借入金	2,899,990	2,982,500
未払金	4,125,564	4,308,961
未払法人税等	593,255	438,321
前受金	30,471,170	33,160,524
賞与引当金	485,451	480,105
その他	2,967,649	2,647,323
流動負債合計	42,690,198	45,064,422
固定負債		
長期借入金	5,236,900	5,594,400
繰延税金負債	1,236,101	748,496
退職給付に係る負債	3,354,347	3,335,909
その他	2,146,229	2,126,606
固定負債合計	11,973,577	11,805,413
負債合計	54,663,775	56,869,835



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,935,940	5,935,940
資本剰余金	4,774,519	4,774,522
利益剰余金	27,631,759	29,602,863
自己株式	△84,101	△84,546
株主資本合計	38,258,118	40,228,780
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,215,347	3,961,650
退職給付に係る調整累計額	△194,493	△130,480
その他の包括利益累計額合計	5,020,853	3,831,170
純資産合計	43,278,971	44,059,951
負債純資産合計	97,942,747	100,929,786

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業収益	21,445,925	21,302,005
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	16,956,005	17,190,954
販売費及び一般管理費	1,125,751	1,191,393
営業費合計	18,081,756	18,382,347
営業利益	3,364,169	2,919,657
営業外収益		
受取利息	141	215
受取配当金	68,825	83,186
持分法による投資利益	316,569	320,817
雑収入	149,128	91,416
営業外収益合計	534,665	495,636
営業外費用		
支払利息	127,059	115,025
雑支出	282	840
営業外費用合計	127,342	115,865
経常利益	3,771,492	3,299,428
特別利益		
工事負担金等受入額	153,018	291,192
移転補償金	11,321	—
持分変動利益	—	6,792
特別利益合計	164,340	297,984
特別損失		
固定資産圧縮損	164,340	291,192
投資有価証券評価損	2,310	—
特別損失合計	166,650	291,192
税金等調整前当期純利益	3,769,182	3,306,220
法人税、住民税及び事業税	1,114,555	958,708
法人税等調整額	△25,987	△7,827
法人税等合計	1,088,567	950,880
当期純利益	2,680,615	2,355,340
親会社株主に帰属する当期純利益	2,680,615	2,355,340

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	2,680,615	2,355,340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	892,868	△1,254,958
退職給付に係る調整額	57,579	64,013
持分法適用会社に対する持分相当額	11,067	1,262
その他の包括利益合計	961,516	△1,189,682
包括利益	3,642,131	1,165,657
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,642,131	1,165,657
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,935,940	4,774,519	25,362,834	△83,606	35,989,688
当期変動額					
剰余金の配当			△411,690		△411,690
親会社株主に帰属する当期純利益			2,680,615		2,680,615
自己株式の取得				△495	△495
自己株式の処分					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,268,925	△495	2,268,430
当期末残高	5,935,940	4,774,519	27,631,759	△84,101	38,258,118

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	4,311,410	△252,073	4,059,337	40,049,025
当期変動額				
剰余金の配当				△411,690
親会社株主に帰属する当期純利益				2,680,615
自己株式の取得				△495
自己株式の処分				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	903,936	57,579	961,516	961,516
当期変動額合計	903,936	57,579	961,516	3,229,946
当期末残高	5,215,347	△194,493	5,020,853	43,278,971

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,935,940	4,774,519	27,631,759	△84,101	38,258,118
当期変動額					
剰余金の配当			△384,236		△384,236
親会社株主に帰属する当期純利益			2,355,340		2,355,340
自己株式の取得				△482	△482
自己株式の処分		2		37	40
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	2	1,971,104	△445	1,970,661
当期末残高	5,935,940	4,774,522	29,602,863	△84,546	40,228,780

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	5,215,347	△194,493	5,020,853	43,278,971
当期変動額				
剰余金の配当				△384,236
親会社株主に帰属する当期純利益				2,355,340
自己株式の取得				△482
自己株式の処分				40
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,253,696	64,013	△1,189,682	△1,189,682
当期変動額合計	△1,253,696	64,013	△1,189,682	780,979
当期末残高	3,961,650	△130,480	3,831,170	44,059,951

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	3,769,182	3,306,220
減価償却費	2,889,724	3,055,218
持分法による投資損益(△は益)	△316,569	△320,817
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,221	△5,345
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	127,515	74,929
受取利息及び受取配当金	△68,966	△83,401
支払利息	127,059	115,025
投資有価証券評価損益(△は益)	2,310	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△42,099	△22,569
工事負担金等受入額	△153,018	△291,192
移転補償金	△11,321	—
固定資産圧縮損	164,340	291,192
固定資産除却損	89,265	119,930
持分変動損益(△は益)	—	△6,792
売上債権の増減額(△は増加)	△10,386	228,736
リース投資資産の増減額(△は増加)	11,307	11,923
たな卸資産の増減額(△は増加)	263,134	△37,869
未収消費税等の増減額(△は増加)	—	△72,779
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△293,262	243,863
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△24,800	4,548
仕入債務の増減額(△は減少)	△70,721	△169,905
未払消費税等の増減額(△は減少)	△135,402	△45,635
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	△75,920	△57,741
その他	156,470	△246,400
小計	6,402,061	6,091,135
利息及び配当金の受取額	149,187	194,965
利息の支払額	△127,643	△114,057
法人税等の支払額	△1,147,493	△1,108,890
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,276,112	5,063,153
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△500,000	—
有形固定資産の取得による支出	△6,804,142	△8,846,877
有形固定資産の売却による収入	42,100	22,570
無形固定資産の取得による支出	△197,354	△363,701
工事負担金等受入による収入	2,846,944	2,985,427
投資有価証券の取得による支出	—	△4,250
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,612,453	△6,206,832
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△1,135,320	△1,059,990
自己株式の取得による支出	△495	△482
自己株式の売却による収入	—	40
配当金の支払額	△410,825	△384,579
その他	△2,925	△5,840
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,549,565	49,147
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△885,906	△1,094,531
現金及び現金同等物の期首残高	7,335,189	6,449,283
現金及び現金同等物の期末残高	6,449,283	5,354,752

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、サービス別のセグメントから構成されており、「運輸業」及び「不動産業」の2つを報告セグメントとしております。

「運輸業」は鉄道、バスの営業を行っております。また、「不動産業」は土地、建物の販売、賃貸等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	16,172,391	3,582,507	19,754,899	1,691,026	21,445,925	—	21,445,925
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	20,978	84,411	105,390	4,389	109,779	△109,779	—
計	16,193,370	3,666,919	19,860,289	1,695,415	21,555,704	△109,779	21,445,925
セグメント利益	1,571,339	1,683,514	3,254,854	81,438	3,336,293	27,875	3,364,169
セグメント資産	67,405,034	15,744,533	83,149,568	462,016	83,611,584	14,331,163	97,942,747
その他の項目							
減価償却費	2,283,031	606,310	2,889,341	383	2,889,724	—	2,889,724
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	3,583,848	422,379	4,006,228	—	4,006,228	—	4,006,228

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニ事業等であります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	運輸業	不動産業	計				
営業収益							
外部顧客への 営業収益	16,025,014	3,180,538	19,205,552	2,096,452	21,302,005	—	21,302,005
セグメント間 の内部営業収 益又は振替高	21,596	104,731	126,328	1,102	127,431	△127,431	—
計	16,046,611	3,285,270	19,331,881	2,097,555	21,429,436	△127,431	21,302,005
セグメント利益	1,225,062	1,570,731	2,795,793	97,234	2,893,028	26,629	2,919,657
セグメント資産	72,249,673	16,653,152	88,902,826	529,773	89,432,599	11,497,187	100,929,786
その他の項目							
減価償却費	2,432,522	622,008	3,054,530	687	3,055,218	—	3,055,218
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	5,056,667	1,528,864	6,585,532	3,479	6,589,011	—	6,589,011

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンビニ事業等  
であります。
2. 調整額は、以下のとおりであります。
- (1) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。
- (2) セグメント資産の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。
3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。



(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	3,942.27円	4,013.48円
1株当たり当期純利益金額	244.17円	214.55円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	2,680,615	2,355,340
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	2,680,615	2,355,340
普通株式の期中平均株式数(株)	10,978,338	10,978,139

(重要な後発事象)

該当事項はありません。